

稚内市議会広報委員会 行政視察報告書



視察先：留萌市議会広報常任委員会

議会広報委員会

委員長 佐藤由加里

副委員長 吉田 大輔

委員 千葉 一幸

委員 近藤 文恵

□ 留萌市議会広報常任委員会について

行政視察選定理由

広報委員会を常任委員会化している議会は全国的にもめずらしく、委員会のあり方に興味があった。(議員定数16名。広報常任委員会8名。留萌市議会は二つの常任委員会に所属可としている)

委員会の進行

本市の各常任委員会と同様に、それぞれの議題について質疑応答がなされていたが、異なる点は議会広報委員会という性格上、答弁は参与ではなく、正副委員長が行っていた。

本市議会広報委員会との比較

質疑応答や議論の内容は、本市広報委員会と共通している部分も多々あったが、常任委員会という性質上、発言の一つひとつを慎重に、かつ正確にされている感があり、若干の窮屈さを感じないわけでもなかった。

『楽しさ』や『気軽さ』という点では、本市のように任意の委員会で、ざっくりばらんな議論をしながらの方が、やりやすさはあると思われる。常任委員会の利点は、委員が変更しても、委員会としての仕事内容としては継続した委員会活動をしていけることや、議会広報に関する責任と同時に、一定の権限を与えられることにあるのではないかと、思う。

なお、留萌市議会広報常任委員会においては、特別委員会としての期間が長く、あわせて議会基本条例の制定にあたり、広報のあり方についても議論され、現在のように常任委員会となった経緯がある。



□ 作業班の活動内容について

常任委員会の質疑応答の後、休憩をとり、二つの作業班に分かれ、それぞれ必要な作業を行っていた。

年4回発行の『議会広報作業班』と、毎月発行の『お知らせ掲示板（かわら版）・ホームページ作業班』にそれぞれ4名の委員が所属。

○ 『議会広報作業班』

年4回『議会だより』の発行を行っている。発行された議会だよりについて、良かった点・悪かった点ふくめて気づいたこと、市民からよせられた意見や要望などを出し合い、次回の紙面に活かすための議論が行われる。

議会だよりの内容をはじめ、レイアウトや使用する写真などもすべて委員がおこなっており、議会だよりの発行に際して、かなりの時間と作業量が費やされていると感じた。

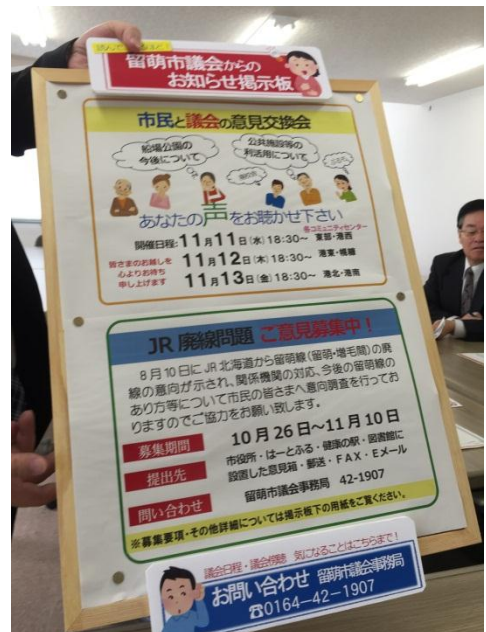
○ 『お知らせ掲示板（かわら版）・ホームページ作業班』

月に1回（その他、必要時）、市内の公共施設等に『お知らせ掲示板』の設置や、『かわら版』を発行。『議会だより』が事後報告的な意味合いが強いものに対して、『お知らせ掲示板』や『かわら版』は、議会の動きをリアルタイムに発信するための媒体となっている。

これらは本市議会広報委員会においても参考にし、積極的に取り入れていくべき内容であると感じた。

今回の視察では、今後の広報委員会のあり方と議会内の位置づけ、紙面の作りやその他の広報活動全般にわたり、広く学ぶことができた。

これらのことは本市議会広報委員会においても、今後活かしていけるよう議論をしていきたい。



□ 委員所感

- ・留萌市議会では昭和61年に「議会だより編集委員会」を発足させて以来、今日に至るまで議員が中心となって広報紙を作成・編集している点が、まづもって稚内市議会とは異なり、感嘆した点である。

その後は平成7年に特別委員会化し、今年度(平成27)からは常任委員会としていることから、留萌市議会の「広報」に対する意識の高さの一端を伺い見ることができる。

中でも月1回ペースで発行している「かわら版」は、稚内でも比較的短期間で取り組めるのではないかという印象を持った。また、留萌市においては市内7ヶ所に掲示しているとのことだが、掲示場所を増やす取り組みを進め

ることで、市民から議会活動の一端を目に触れてもらう機会も増えるのではないかと思う。

- これからの広報委員会の為にと委員 4 人にて視察を終えました。留萌市議会では、広報広聴活動は常任委員会として取り組みをされています。広報紙の紙面づくり、かわら版掲示板等、委員としての取り組みの違いを感じました。この視察を契機に、稚内市議会広報委員会でも「かわら版」を市内に掲示してみることを取り組んでいく予定です。視察があってこそその取り組みですが、市民に認知されるよう掲示場所の選定、「かわら版」掲示が目的ではなく、市議会情報を広く周知するための手段として市民に議会が身近に感じていただければと思っております。
- 留萌市の広報委員会は常任委員会として活動しており、議会広報作成班とお知らせ掲示板・ホームページ作業班に分かれて活動している。
市民に分かりやすく開かれた議会を実現するため、活発に意見を出し合い、一人一人の意識の高さを感じた。お知らせ掲示板は毎月設置するなど、非常に努力されている様子が伝わってきた。稚内市としても参考にしながら取り組んでいくべきと感じた。

以 上



(留萌市議会広報常任委員会の様子)